



賞金女王の出場選手はチャレンジカップ終了後に確定するので、現時点では選手を特定することはできない。そこでここでは10月中旬における獲得賞金額をもとに出場可能性の高い15選手をピックアップし、戦力評価を試みた(賞金や成績データは10月15日現在のもの)。

初の賞金女王は誰の手に!?

~有力15選手の戦力比較~

登番 3932



静岡県 池田浩美

獲得賞金額		
18,908,000		
勝率	出走	
5.96	215	
1着	2着	3着
56	40	28
優出	優勝	ST
7	1	0.18

短評 はまれば強烈な旋回を繰り出す。コース問わずの攻めは外でこそ真価発揮

登番 3618



広島 海野ゆかり

獲得賞金額		
19,607,000		
勝率	出走	
6.85	192	
1着	2着	3着
59	44	32
優出	優勝	ST
8	2	0.17

短評 ターンスピードは未だに上位を争う。ここ一番での集中力が高く大舞台向き

登番 3845



兵庫県 中谷朋子

獲得賞金額		
20,135,000		
勝率	出走	
6.87	220	
1着	2着	3着
66	59	31
優出	優勝	ST
8	0	0.19

短評 最終的にエンジンを仕上げてくるが、短期決戦では抽選運も味方にしたい

登番 3435



岡山 寺田千恵

獲得賞金額		
20,144,000		
勝率	出走	
6.84	205	
1着	2着	3着
65	43	28
優出	優勝	ST
7	2	0.17

短評 実力に加えて最近ではエンジン出しも安定している。女子では総合力上位のひとり

登番 4017



山口 向井美鈴

獲得賞金額		
20,669,500		
勝率	出走	
5.98	221	
1着	2着	3着
53	35	40
優出	優勝	ST
6	1	0.18

短評 仕上がりが遅いのが難点だが、好機さえ引ければ上位陣とも好勝負必至

登番 4208



静岡県 三浦永理

獲得賞金額		
24,294,500		
勝率	出走	
6.74	236	
1着	2着	3着
82	39	35
優出	優勝	ST
9	2	0.17

短評 ターンの迫力は男子顔負け。徐々に調子上げてきていることが不気味さを増す

登番 4387



香川 平山智加

獲得賞金額		
24,633,500		
勝率	出走	
6.95	207	
1着	2着	3着
56	46	43
優出	優勝	ST
11	0	0.17

短評 レースセンスは女子の中でも一、二を争うが、V戦で連敗が気になるどころ

登番 3188



福岡 日高逸子

獲得賞金額		
29,403,000		
勝率	出走	
7.00	211	
1着	2着	3着
57	62	26
優出	優勝	ST
10	2	0.15

短評 超一流のさばきで安定感抜群。時折見せるセンター強襲で波乱演出も

登番 3232



香川 山川美由紀

獲得賞金額		
30,722,000		
勝率	出走	
7.05	184	
1着	2着	3着
63	36	27
優出	優勝	ST
8	3	0.16

短評 新制度で経験が有利に働いているが、真骨頂は誰にも負けない気合駆け!

登番 4050



岡山 田口節子

獲得賞金額		
34,223,000		
勝率	出走	
6.76	198	
1着	2着	3着
58	33	34
優出	優勝	ST
8	3	0.16

短評 自在な攻めは女子ナンバーワン。メンタルが強くなったことが大舞台で生きる



勝負強さを秘めた香川素子の大駆けも!



安定感ならピカイチといえる田口節子

新制度後の勢いは山川美由紀が一番!

今年はいよいよ変則的に女子王座決定戦が2回開催された。春の多摩川大会を制した田口節子、夏の若松大会を制した山川美由紀が賞金、実力ともに拮抗している。しかしながら、近況の勢いを見ると、山川美由紀の方を上に取りたい。特に新ペラ制度になってからの活躍が目覚ましい。女子王座も新制度後に獲ったものだが、その後も混合戦で優出、オール女子戦では手がつけられない強さで優勝するなど、乗りに乗っている状態だ。ベテランの経験と持ち前の気迫あるレースぶりは今、女子選手の中で頭ひとつ抜けている感があり、初の賞金女王に輝くのは山川である可能性が非常に高いと言えるのではないかと。一方の田口は、新制度になって成績自体は落ちてはいるものの、それはGIやSGでの大敗が響いているもので、調子落ちではなさそう。山川とは逆に、いい意味での落ち着きが女子戦での安定した成績に繋がっているようだ。

そこに割って入るのは、日高逸子、横西奏恵、平山智加らの実力組。注目される横西は前期のF2でこの開催が休み明けのレースになってしまっただけで、平山は調子自体はなかなかいいが、肝心の勝負どころで力が出し切れないのはマイナス材料。細川裕子も新ペラ制度で大躍進したひとりだが、こちらも横西同様、前期F2で、賞金女王決定戦は長期欠場明けになり不安を残している。

そんな中で伏兵として挙げたいのが香川素子だ。前期はA2ながらも7点勝率を残して調子を上げてきており、コース問わずのレース巧者が光る。また、勝負駆けや準優勝などで、思わぬ勝負強さを見せることも多く侮れない存在となりそう。

また、出場はボーター上ではあるが、寺田千恵・海野ゆかりはキャリア上位。出場がかなえばV争いも一気に混沌としてくる。

登番 3334



広島 角ひとみ

獲得賞金額		
20,859,000		
勝率	出走	
6.02	252	
1着	2着	3着
55	55	42
優出	優勝	ST
6	0	0.19

短評 調整力が光る。仕上がるときは超抜仕様になることも多く直前気配に注目を

登番 4123



愛知 細川裕子

獲得賞金額		
21,301,066		
勝率	出走	
6.36	200	
1着	2着	3着
46	38	53
優出	優勝	ST
6	3	0.20

短評 まくりの攻撃力はオール女子でも上位。苦手な差しを捨てまくりで一本で女王を目指す

登番 4183



愛知 宇野弥生

獲得賞金額		
21,933,000		
勝率	出走	
6.27	180	
1着	2着	3着
54	36	14
優出	優勝	ST
7	2	0.15

短評 「私らしい」スタート張り込んで攻めるレースを徹底。はまれば破壊力は一歩

登番 3900



京都 香川素子

獲得賞金額		
22,175,066		
勝率	出走	
6.62	220	
1着	2着	3着
52	50	55
優出	優勝	ST
9	0	0.18

短評 近況の好調ぶりに注目。勝負どころでは力が増すタイプだけに警戒が必要だ

登番 3774



徳島 横西奏恵

獲得賞金額		
24,043,000		
勝率	出走	
7.38	172	
1着	2着	3着
60	35	25
優出	優勝	ST
4	2	0.14

短評 実力はもはや言うまでもないが、フライング休み明けでレース勘に不安残す...